

2月	豊川 愛護モニター報告	モニター区間	豊川: 左右岸 吉田大橋～当古橋
			管轄出張所: 豊川出張所
実施日	令和2年2月27日	実施区間	吉田大橋～下条橋



今回は、吉田大橋の上、吉田城址の豊川沿いを観察しました。上記左は、旧吉田城の見取り図です。吉田大橋の上、左岸がちょうど吉田城の北に面しており、豊川はその内堀と外堀の役割を果たしています。豊川は右へ大きく蛇行して、河口へ向かっています。辺りは、喫水域となっており、葦が茂り、中洲には雑木林も形成されています。魚影も多く見られ、それを狙って多くの野鳥も集まる、自然の豊かな、水辺です。

天守閣はありませんが、現在再建されている櫓、本丸跡、鉄(くろがね)櫓跡に建てられた城に登りました。1号線から見えるので、おなじみですね。ここからの豊川と本宮山が絶景です。故郷の豊川を紹介する際には、最高のスポットだと思います。3月下旬まで、資料館として無料開放されています。城から、豊川岸の港まで石段で降りられるようになっており、昔の海運の要衝、吉田の街と城の特徴を良く表していると思います。



この辺りは、葦原は水辺の生き物にはとても居心地の良いところと思われる。ちょっと昔には、鰻の稚魚が、アミで簡単にすくえ、子供たちのお小遣いになったと聞きました。

ただし、川の流れが緩やかで蛇行しているところなのでしょう、ビニールや発泡スチロールが流れ着いていました。そして、流れ着いたとは思えない、犬小屋までありました。中には、パスタオルのようなものまで敷いてあり、今にも子犬が飛び出てきそうです。「ゆきちゃん」が、どこかで元気にいる事を祈ります。河川敷と思われるので適切な対処が必要とも思いました。